

令和6年度8月定例教育委員会議事録

【日時】

令和6年8月26日（月）

開会 午後1時30分

閉会 午後3時30分

【会場】

辰野町民会館 103 学習室

【出席者】

10名

(辰野町教育委員会)

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

(事務局関係)

学びの支援課長	福島 永
学校支援課長	小澤 靖一
学校支援課長補佐	宮原 隆史
学校教育係長	翠川 俊一
教育総務係	中沢 大輔

【傍聴者】

0名

【次第】

1 議事

2 協議

- (1) 【非公開】夏休みの反省及び学校の様子及び運営上の諸課題
- (2) 町内小中学校2学期の方向
- (3) 県市町村教育委員会研修総会及び北部3町村教育委員会研修について
- (4) 町教育委員会研修視察について
- (5) 小中学校あり方検討委員会 今後の推進について
- (6) 夏休み中の学校関係工事の進捗状況
- (7) その他

3 報告事項

○開会

1 開会宣言

2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

3 議事録の承認

- ・承認。

4 宮澤教育長挨拶

こんにちは。既に町内小学校では先週から、辰野中学校では今日から2学期が始まり、12月末迄の長い2学期が始まりました。今朝は強い雨が降っていて、歩いて学校に向かう小学生は少なかったものの、雨にも負けず、という思いの何人かの小学生に会いました。

8月も残り1週間ですが、相変わらず厳しい残暑の日々です。しかしここ数日天候が大変不安定になっていて午後になると強い雨です。昨日の午後、樋口はかなり強い雨が降りましたが、この時間帯の辰野町のアメダスの記録は降水量「0」、同じ辰野町でも状況が異なっていますが、これがこの夏の雨の降り方なのだと思います。

今年の夏は、日向灘、神奈川で大きな地震があり、南海トラフ地震臨時情報が発表されたり、複数の台風が相次いで襲来したり、また連日の猛暑、降れば至る所でゲリラ豪雨、駅も水没する程の豪雨が東京はじめ首都圏で毎日発生しています。起こり得る大きな自然災害が立て続けに4つも発生しました。このことは、私たちに新たな災害に対する備えの必要性を訴えているのかもしれませんが。

9月1日の防災の日も目前です。1週間前に開催された町校長会においても、この4つの自然災害が、僅か半月の間に発生した事実をしっかり受け止め、従来の防災教育・防災訓練をそのまま受けて実施するのではなく、ハザードマップも今年度更新されたので、これを活用しながら、まず自分達の学校の立ち位置を確認し、防災訓練を行いたい旨、お伝えしました。これらの災害が、同時に起こる事も想定する必要があります。

さて、台風10号も不穏な動きをしながら近づいています。今後勢力が強くなる台風です、水曜日あたりから対応を取らざるを得ない状況が発生する事が予想されます。早い段階から幾つかの状況で対応を検討しています。

今日の定例教育委員会では、議事はございません。協議として、学校の様子や運営上の諸課題等です。それではよろしくお願ひします。

5 議事

なし

6 協議

(1) 【非公開】夏休みの反省及び学校の様子及び運営上の諸課題

- ・宮澤教育長より説明。
資料として『学校の様子及び運営上の諸課題』、『8月校長会資料』を提示。

(2) 町内小・中学校2学期の方向

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『令和6年度 2学期教育課程等の方向』を提示。

(川島小)

- ・9月7日の閉校記念授業公開・記念講演会、10月19日の閉校記念式典に向けて、思い出に残る行事となるよう準備を進めていきたい。
- ・来年度、西小と東小に分かれて通学をしていくので、スムーズに移行ができる様に、これまで西小との交流をしてきたが、東小も含めて、学習活動や行事への参加をしていきたい。
- ・「授業のあり方」を職員同士で共有していく。少人数であっても妥協せず、教材研究を怠らず、丁寧に学習活動を促していく。
- ・校内の備品や保管文書等を適切に廃棄・移管できるよう、早めに進めて行く。

(西小学校)

- ・「自主的な授業改善の推進」職員の授業改善に向け、先生方の意識を喚起していきたい。11月に信教全県研究公開に向けて支援をしていきたい。「めあて」と「問い」のある授業をしていく。
- ・「子どもの意識を大事にした子どもと共につくる活動の推進」子どもの考えを大切に活動を進めていく。2学期は大胆に外に出て学習を展開させていく。
- ・個に寄り添ったチーム支援の充実として、子ども一人一人の特性を理解した上で、居心地の良い居場所が作れるように対応していきたい。

(東小学校)

- ・子ども達には「探究を楽しむ」という視点で外国語の教育課程研究協議会の授業案作りに取り組んでいきたい。
- ・児童会を「子どもの行事」という意識で運営していきたい。
- ・学年・学級では音楽会に向けて、子ども達の願いの実現する場としての音楽会

にしたい。

- ・クラブ活動は、挑戦したい事に挑戦できる時間となっている。来年度に向けて児童が挑戦したい事を聞き出し、対応できる講師探しを進める。

(南小学校)

- ・「つたえあい、こたえあい、うけとめよう」を引き続き大事にしていく。2学期は特に「うけとめよう」を大切にしていく。
- ・職員同士で改めて協働・連携を大事にしていく。新卒の先生を育てながら、自分自身の取り組み姿勢等を謙虚に振り返り、初心に返って指導・支援に当たる。

(辰野中学校)

- ・「地域に出る」を大事にしていきたい。特に3年生は集大成である「中学生議会」に向けて、地域の課題を自分達なりに受け止めて、解決策を探っていく。
- ・「生徒から発する活動」を大切にしていく。

<小澤課長>

川島小学校の関係で、来年度通う西小・東小学校について、川島小学校に中核職員として配置されている鈴木先生から、2学期に向けて、西小学校と東小学校の職員会でお願いや説明をしたいという事で、川島小学校の校長先生から教育委員会も一緒に行って、説明をして欲しいとのお話があり、私と鈴木先生の2人で先週行ってきました。西小学校は今までの経緯を知っていますが、2学期までに私達と川島小の保護者との面談を行い、どちらに行くかの意思が固まっておりますので、2学期からはそれぞれ希望する学校に分かれて交流する事になりました。東小学校についても、鈴木先生の案では、東小学校の音楽会に全校を連れて交流したいとお願いしてきました。川島小学校が西小や東小と交流をしていく予定ですが、逆に、川島小の子ども達がどういった学校から来るかという事を知ってもらう為に、東小学校の子ども達を川島小学校に連れて行って、体験を通して知って欲しいという提案をしてきました。具体的にはこれから担当の先生同士で話し合っていくという事です。

それから先週、川島小学校の子ども達の様子について、私と補佐とスクールカウンセラーの先生と、西小と東小の教頭先生で、川島小の担任の先生から状況を聞き、情報共有をしてきました。

<宮澤教育長>

今回、事前に校長会資料を送付できませんでしたので、ご覧ください。主に、「自然災害が身近になっている今日の日本列島」という事で、大きな自然災害がこの夏休み中に来ました。これから防災教育、防災訓練について、地震や台風だけでなく、

場合によっては同時に来る事や、猛暑の中で地震が来るという事も考えていく。また、ハザードマップが更新されましたので、それを受けて、自分達の学校が建っている場所がどういう場所なのかという事を見直しましょうと話をしました。

2学期の方向とは関係がありませんが、7月27日の信濃毎日新聞の記事で、教員が不足しているという特集を掲載しており、県の方で「欠員対策教員」の授業の紹介と、欠員対策への独自の対策として、辰野町教育委員会ではやっている事が記事になりました。

(3) 縣市町村教育委員会研修総会及び北部3町村教育委員会研修について

- ・宮原課長補佐より説明。出欠の確認。

(4) 町教育委員会研修視察について

- ・宮澤教育長より説明。
- ・候補に挙がっていた、愛知県東浦町の緒川小学校の「自由進度学習」の見学は、年に3回と機会が限られており、9月、10月での受入は難しい為、断念。他の候補を検討予定。

(5) 小中学校あり方検討委員会 今後の推進について

- ・宮澤教育長より説明。
- ・次の第4回では、このままの形を維持していくのは難しく、集約していく必要があるという方向を決め出す会としていきます。

< A委員 >

前回、傍聴の場から、議論の中に入ってしまったのですが、教育委員会は結論を聞く立場と言いますか、その辺の線引きが良かったのかと思ってしまいました。

< 宮澤教育長 >

これまでで、色々な意見が出て、委員長とも方向性を確認し、これで行こうと確認ができたので、これからは良いと思います。

(6) 夏休み中の学校関係工事の進捗状況

- ・宮原課長補佐より説明。全て当初の予定通り進行中。

(7) その他

< B委員 >

1点、お願いします。あり方検討委員会にも関わる事ですが、先日の信濃毎日新

間に、東御市の給食室の1件がありました。辰野町でもいずれこういった事を検討しなくてはいけないと思ったのですが、一悶着あったという事が書かれていました。

<宮澤教育長>

学校はそのまま、給食室をセンター化というには、ハードルが高いと思います。辰野の場合では、これからどういう形になっていくにせよ、集約した場合には、今の給食室を仮に西小にするとしても、賄えるのかという事を検討していかななくてはなりませんし、小中1つとなった時には、センターでは無いとしても、1つとなれば、自校給食になります。

<C委員>

東御市の保護者が言うような、センターと自校で作るものは変わらないのに、何故、センターではいけないのか疑問に思いました。辰野に置き換えた時に、機器が揃っていない給食室を個々に使うよりも、設備が整っている所で集中的に作った方が良いのではないかと思うし、この前の南小の工事の時は、西小で作ったものを配達していたので、町内の中だけであつたら、できなくはないと思います。昔は外部委託で丸投げのセンター化という事に問題はありましたが、今の給食をやっている先生達がセンターに行けば、場所が変わるだけで、クオリティは落ちないのではないかと思います。

<宮澤教育長>

東御市はそこまで大きくないので、1つのセンターで十分できてしまうと思うのですが、昔のイメージでセンター化を反対する。今のセンターがどれだけ凄いのかというのを理解できていないのだと思います。だから、美味しくないとか、冷めているだとか思うのだと思います。ただ、見える給食室は無くなってしましますが、それくらいです。

<D委員>

辰野町に置き換えると、あり方検討委員会の方向性と、給食室の問題のリンク性まで考えていくのか。例えば、結論が進んだとして、今の各学校にある給食室の問題は長年の課題だと思うので、その方向性が出れば、給食室をどうするかという事も出てくれば、やりやすくなりますよね。

<宮澤教育長>

いずれにしても、その時に新しい給食室を今の法令等に準拠した給食室を作らなくてはいけないと思います。辰野町ではセンター化というのは凍結していますが、

新たな方向性が決まってくれば、センターという言葉は使いませんが、仮に学校が1校になれば、まさに自校給食ではあるが、規模が大きくなる事になります。

<E委員>

1点お願いします。中学3年生の子ども達が進路の関係で、体験入学や体験授業等で行かせて頂いていて、この夏休み中にも体験授業というものがあって、辰野中からも複数名が行きましたが、電車を使って行くのですが、事前に何時の電車を使っていくという事を言われて、無人駅が多いので事前に切符を買っておくようにと言われていました。事前に切符を購入しないと駅員さんが大変になるという事で、辰野駅に切符を買いに行ったのですが、辰野駅だと500円以下の切符は販売できないと言われてしまったようです。宮木と伊那新町、羽場から乗る子どもも、往復切符を伊那松島駅で買っておく必要があるという事ですが、16時迄しか駅員さんがいらっしゃらないので、当日買えばよいと考えていた保護者の方も多かったと聞きました。辰野駅から乗る子ども達は買えたようです。結局、中学の先生にもお伝えしましたが、今年からそうになってしまったようなので、ご存じないのも無理はないと思いますが、そんな事がありました。

<宮澤教育長>

根本的な解決は難しいですね。人数が纏まっているのであれば、旅行会社を使うという手もありますが。

<宮澤教育長>

最後に、「川島小学校閉校に当たって」という資料をご覧ください。川島小学校から閉校記念誌の原稿が提出されましたので、確認をして頂きたいと思います。

7 報告事項

- ・10月16日の教育委員会は、同日に辰野中でオリンパスによる出前授業が行われる為、午後の授業参観をした後、引き続き中学校で教育委員会を開催予定。

8 閉会